

技術情報

長崎県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察技術情報第1号

ヒメトビウンカの生息量及び イネ縞葉枯ウイルスの保毒状況について

本年4～5月に行った調査の結果、下記のとおりヒメトビウンカ（第1世代）の生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒率は平年並でした。

記

1. ヒメトビウンカ（第1世代）の生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒状況

- (1) 本年4～5月の小麦圃場及びイネ科雑草地（27地点、1地点あたり概ね5圃場）においてヒメトビウンカの生息量調査を行った結果、捕虫網による20回すくいとり当たり虫数は9.8頭（平年8.9頭）と平年並（図、表）で、中齢主体であった。
- (2) 上記調査時に採集したヒメトビウンカについてイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率調査（簡易エライザ法）を行った。その結果、保毒虫率は0.4%（平年 0.9%）と平年並であった（図、表）。

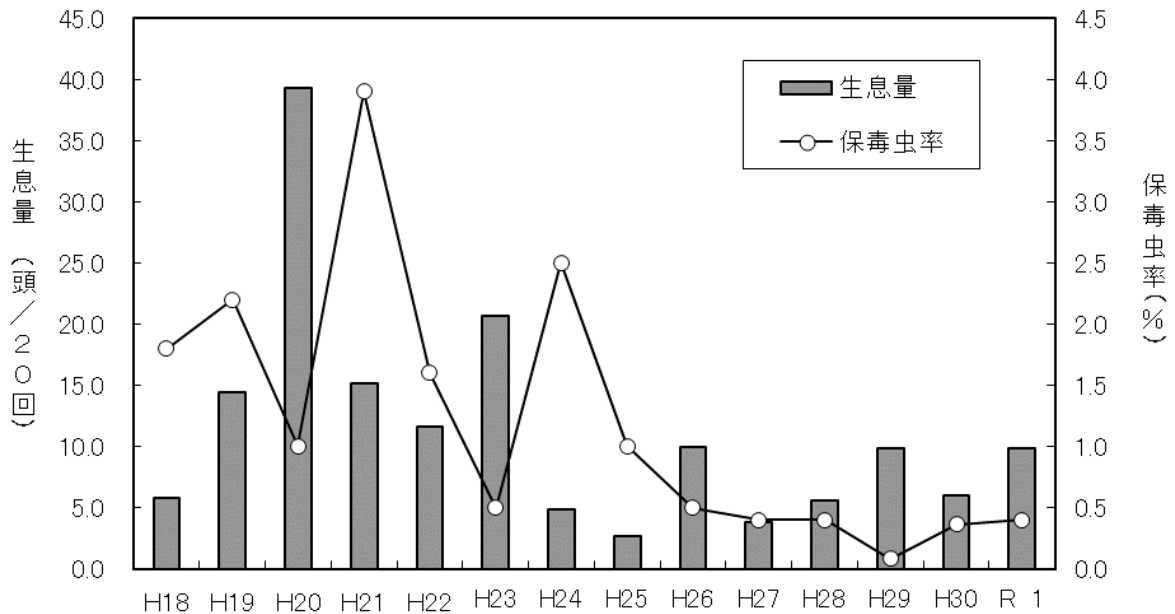


図 小麦圃場及びイネ科雑草地におけるヒメトビウンカ(第1世代)の生息量及びイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

※ 保毒虫率は、H18～26はラテックス凝集反応法、H27からは簡易エライザ法で実施

表 各地点におけるヒメトビウンカ（第1世代）の生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率

| 採 集 地 点 | 検定虫数 | 保毒虫率 (%) | 生 息 量 (20回すくい とり頭数) |
|-------------|------|-------------|---------------------------|
| 長崎市手熊 | - | - | 0.3 |
| 長崎市琴海戸根 | 83 | 0 | 8.5 |
| 長崎市外海町神ノ浦 | - | - | 0.1 |
| 西海市大瀬戸町 | 96 | 0 | 4.4 |
| 諫早市小船越 | 92 | 1.1 | 25.3 |
| 諫早市小野 | 92 | 0 | 39.1 |
| 諫早市森山 | 92 | 1.1 | 40.0 |
| 諫早市多良見町 | - | - | 2.3 |
| 大村市鈴田 | 92 | 1.1 | 55.8 |
| 東彼杵町三根 | 58 | - | 8.7 |
| 雲仙市吾妻町 | 96 | 0 | 11.8 |
| 雲仙市国見町神代 | 92 | 1.1 | 49.0 |
| 佐世保市長畑 | 92 | 0 | 34.9 |
| 佐世保市針尾 | - | - | 0.1 |
| 松浦市志佐 | - | - | 0.9 |
| 平戸市紐差 | - | - | 1.6 |
| 五島市三井楽 | - | - | 6.8 |
| 五島市本山 | 42 | 0 | 9.7 |
| 五島市崎山 | 96 | 0 | 0.3 |
| 五島市富江 | 63 | 0 | 8.8 |
| 五島市岐宿町楠原 | - | - | 1.3 |
| 五島市岐宿町川原 | 96 | 0 | 27.0 |
| 壱岐市石田町筒城 | - | - | 0 |
| 壱岐市郷ノ浦町柳田 | - | - | 0 |
| 壱岐市勝本町湯本 | - | - | 0.3 |
| 壱岐市勝本町新城 | - | - | 0 |
| 壱岐市芦辺町田河、当田 | - | - | 0 |
| 県全体 | 1086 | 0.4 | 9.8 |
| 平年値 | - | 0.9 | 8.4 |

保毒虫率については、30頭以上捕獲した調査地点のみ算出

2. 防除対策について

- (1) 今後、移植を行う圃場ではウンカ類に効果のある箱施薬剤を必ず施用する。
- (2) 圃場でのヒメトビウンカの発生状況に注意し、発生が多い場合には防除を行う。
- (3) 縞葉枯病の発病株を認めた場合は早急に抜き取る。
- (4) 窒素過多は縞葉枯病の発生を助長するので適正な肥培管理に努める。

○6月1日から8月31日までの3か月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

